敬老カード

# 追加交付期限は弾力的に

## －札幌敬老パスを守る連絡会が市に申し入れ－

札幌敬老パスを守る連絡会は９月２５日、札幌市に対し**「敬老カード９月追加交付にあたり、『申請日を過ぎたから絶対ダメ』という機械的対応を改め必要な人は救済すべきです」**の申し入れを行いました。

敬老カードは０６年度から運動の成果による改善で、３月のいっせい交付以外にも９月交付時に上限額までの追加を申し込めることになりました。しかし、申し込み期限が８月末までだったことに気がつかなかった人もおり、連絡会に相談が寄せられました。

連絡会で各区役所の敬老カード交付係りへ聞き取り調査を行った所、少なくとも６０件余の「何とかならないか」という電話や相談があったことが分かりました。

### 高齢者に対しては柔軟な対応こそ必要

竹中九仁男連絡会代表は、市の宮川 学保健福祉部長へ要請書を渡し、「相手は高齢者であり、送付された説明書を理解していなかったり、うっかり手続きを忘れるということはあり得ること。柔軟な対応で、手続きをしたくてもできなかった人を救済すべきではないか」と要望しました。

市側は「確かにそういう声があることは承知している。しかし交付手続きは年間計画で進めており、これから変更を行うことはシステム上も大きな変更で困難。来年度からの改善の課題とさせてほしい。ただし、本人の責任ではなく郵送や手続きのミスなどによるもの、また長期入院などで手続きが困難だった場合など、個別の事情については対応している」と答えました。

### 市長にきちんと伝え回答を

連絡会としては「区の担当者の所でも『何とかしてやれるものならしてやりたい』という声が出ている。敬老パスの精神で、必要としている高齢者の便宜を図ってもらいたい」と再度要請し、①市長に要望を伝える、②１０月の早い時期に回答をもらいたい、③交付可能になるような案を検討してほしい、の３点を要求しました。

### 追加交付は１万人強

なお、話し合いの中で追加交付の手続きはこの時点で１０,３７９件、平均申請額は１８,６００円程度であることが分かりました。

### 申し入れ書要旨

敬老パス連絡会へ訴えが寄せられました。「申請期限８月３１日までということを忘れていて９月過ぎて区役所に行ったら『期日が過ぎたので交付できません』といわれてがっかりしています。何とかならないのでしょうか」というものでした。

せっかく追加交付できるとの期待を与えながら、些細なミスでがっかりさせることは札幌市の本意ではないはずです。そもそも高齢者が相手であることを念頭に置いて弾力的に対応すべきなのです。市の都合だけを優先すべきではないのです。

しかも１回目の交付から６ヶ月も経っており、交付案内書に書いてあっても忘れてしまうことはよくあることです。勘違いや忘れた事だけで不交付とするのは過酷なペナルティーと言えます。

**皆さんの周りで、期限を過ぎてしまったり、何らかの事情で敬老カードの追加交付を受けられなかった人はいませんか？声をかけ、困っている方がいたら連絡を!**

Fax通信 ０６年９月２８日

札幌敬老パスを守る連絡会
白石区菊水3条3丁目 井上ビル 札幌社保協気付
TEL ８２３－０８６７Fax ８２１－３７０１
www.sapporo-syahokyo.jp/syaho_pass.htm